

活性化モデル商店街の概要

商店街名：中心市街地3商店街※、クラシティ半田、半田商工会議所

【(※半田ランブリングタウン協同組合、半田駅前商店街振興組合・半田中町商店街振興組合)】

●キャッチフレーズ

半田の観光資源と連携した魅力ある商店街の形成

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

- ・ 中心市街地においては区画整理事業の実施後、商業の集積が進まず、シャッターが閉まった店舗や空き地が多く見受けられる。

【課題】

- ・ 需要の高い食料品店や本屋等の業種が欠けており、商店街としての魅力が乏しい状態である。
- ・ 「赤レンガ建物」や「ミツカンミュージアム」、「半田運河」といった、観光資源と連携して、地元特産品を提供する飲食店や土産店など、魅力ある店舗の出店が望まれる。

【対策】

空き地・空き店舗の活用支援やにぎわいを創出する事業を展開し、観光資源と連携を図りながら中心市街地の魅力向上と商業活性化を図る。

◎具体的に取組む事業内容

○地域経済活性化事業（商店街プロムナード形成事業）

地域コミュニティの再生、空き店舗対策支援（28年度）

空き店舗に魅力ある店舗を誘致することで、商店街の連続性を高める。空き店舗対策支援（29年度～31年度）

観光資源と連携しての来街者をひきつけるイベントの開催、空き店舗対策支援（32年度）